

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401353
事業所名	グループホーム 名古屋尾崎山の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームの前の公園は地域の住民の憩いの場ともなっており、散歩に出た折には子供たちに声をかけたりして、関わりを持っている。また、ゴミ拾いや落ち葉集めなどのときに隣近所の人達と話をしている。傾聴ボラが今年より来訪し、利用者と一緒に談笑している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎に行われており、民生委員やいきいき支援センター職員などが参加し、時には消防署員に出席してもらい、避難訓練をしてその後反省会をして、防災についての話をしてもらっている。また、訪問マッサージの人に出席してもらい、介護予防としてのマッサージの実演をしてもらったりしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	生活保護の利用者の件で、保護課職員が定期的に訪れたり、ホームからも出かけてわからないことや申請について聞いている。いきいき支援センター主催の「緑区福祉フェア」に出席したり、市町村主催の研修等へ参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者に嗜好調査を年1回行い、好きなもの、食べたい物を取り入れたメニューにするよう努めている。家族からは、健康面での要望が多い。職員の手書きによる手紙を毎月発行し、各々の日常の様子を伝えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				